

2020年4月1日 北日本新聞

「単身高齢者らの住まい確保支援」

単身高齢者らの 住まい確保支援

ビルレッジハウス

不動産賃貸のビルレッジハウス・マネジメント(東京)は、同社が県内で所有・管理する賃貸住宅2720戸の「住宅セーフティネット制度」への登録を始めた。賃貸住宅の入居を断られやすい単身高齢者や低所得

者の住まい確保を支援する。

登録を済ませた物件は高岡、射水、魚津、南砺、永見の各市と舟橋村の計500戸。今後、登録物件を順次増やす。同社は雇用促進住宅を取得し、「ビルレッジハウス」と名付けリノベーションした。これまでに全国の1万4千戸超を登録した。

同制度は、空き家などの所有者が賃貸住宅として都道府県などに届け出る。物件情報をホームページで公開し、入居希望者とのマッチングを行う。